

福祉教育

～田原中学校～

田原市社会福祉協議会では、児童・生徒の健やかな成長と、思いやりのある福祉の心を育てることを目的に、福祉実践教室や福祉教育に取り組んでいます。

今年度、田原中学校では福祉教育の新たな試みとして、事前に福祉全体から高齢者福祉・障害者福祉などの専門的な福祉まで幅広く学び、生徒たちが自ら調べたうえで福祉実践教室を受ける取り組みを行っています。

9月12日（火）、社協職員が田原中学校に出向き、福祉についての講演会を行いました。体育館に集まった1年生の生徒と先生約250名の前で、「福祉とは何か」「福祉の意味」などについて話をしました。

また、10月10日（火）には第2回目として、13個の講座が開催され、生徒たちは興味のある講座から2つ選び、より福祉についての知識を深めました。社協からは「ボランティア活動ってどうすればいいの?」「地域のサロンとコミュニティカフェ～つながる場～」について話をしました。

今回の田原中学校の取り組みを通して、様々な「福祉」について生徒の皆さんと一緒に考えることができました。



閉じこもり 予防教室

閉じこもり予防教室は、同じ地域や年代の方との交流を通じて、自宅に閉じこもりがちな方の外出意欲を高めることを目的に開催しています。脳トレや折り紙を使った作品作り、ゲームやレクリエーションなどを行っています。

閉じこもり予防教室は、田原市社会福祉協議会の他に、あつみの郷、田原福寿園、渥美福寿園の各事業所がそれぞれの特徴を活かし、市民館等で開催しています。おおむね65歳以上の方ならどなたでも参加可能ですので、一度見学・体験に来ませんか？

田原市社会福祉協議会が実施している閉じこもり予防教室の日程は、社協だより令和5年5月号（118号）の5ページ下段に掲載しています。（過去の社協だよりは、ホームページで見ることができます。）



田原市社会福祉協議会 ☎45-3824